

「子育て世代が訪れ輝くまち 京都・長岡京」発信プロジェクト

長岡京市
神足、長岡第六
小学校区

事業の概要・背景

【概要】

○市中心部にある長岡天満宮は年間約70万人(R元年)の観光客が訪れる一方で、地域の人々の交流の場にもなっており、子育て世代や地域住民も多く訪れる拠点となっている。拠点の更なる利便性向上を図り、子育て世代をはじめ、外部から訪れた方にも「子育てしやすいまち」と実感してもらえるように、子育て世代にやさしいまちの整備に取り組むとともに、地元商店・地域団体等と連携した子育てにやさしいまちの魅力発信を実施し、子育て世代等の若者の移住・定住の促進を図る。

【背景】

- 慢性的な交通渋滞や自転車利用環境(放置自転車等)により、子どもが歩きやすい状況になく、対策への市民ニーズが高い。(市民アンケート)
- 誘客力のあるエリアである一方、子育て世代にとって不便なイメージを与えかねず、子育て世代の交流の接点を移住定住に活かしてきていない。
- 子育て環境見える化ツールで地域コミュニティ関係や外遊び環境、保育サービス関連のスコアが低く、出生率向上に向けた改善の余地がある。

主な事業

- ◇: 交付対象事業
- ◆: 関連事業

- ◇子育て世代にやさしいまちの整備
- ◇子育て世代の活躍と交流の促進
- ◇地域団体と連携したまちの魅力発信

成果指標

- 市民ライターによる情報発信件数
- 観光入込客数
- 合計特殊出生率

令和2年(基準値)	令和7年(目標値)
6件	42件
R1/866,843人	920,000人
H25-29/1.48	H30-R4/1.64

モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

ポイント

○子育て世代にやさしいまちの整備と子育て世代の活躍と交流促進に一体的に取り組む、子育て世代目線で情報発信していくことで、交流人口の獲得、関係の深化、発信者の増加の好循環を生み出す。

○ママパパライターの育成を通じて、潜在的な人材の発掘と活躍の場を提供し、『自分らしく輝く』子育て世代の底上げと、本事業をステップとした主体的なキャリアアップを図る。

○地域が主体となり、商店会の活性化や子育て・多世代交流の拠点をモデル的に整備し、市内での横展開を図る。

